

令和6年度 書道Ⅱ シラバス

科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位	対象 部・年次	1・2・3部 4年次
-----	-----	-----	-----	---------	------------

使用教材

教科書等	書Ⅱ(光村図書)	副教材	なし
------	----------	-----	----

学習の目標

- ・書道Ⅰでの学習を基礎とし、書に親しむ活動を通して、書道Ⅱでは自己を表現するための能力を伸ばす。
- ・個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

学習計画

学期	学習内容	学習のねらい
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書(楷書/行書) ・展示作品の制作 (古典作品の臨書) 	書道Ⅱで学習する中国の代表的な古典(楷書・行書)を鑑賞し、特徴を確認する。また、前期で制作した臨書作品を文化祭で展示する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書 (篆書/隸書/楷書/行書) ・創作作品の制作(刻字) 	<p>前期に引き続き、漢字の書の臨書学習から、創作作品の制作に入る。創作作品は「刻字」を実施、刻字で用いる用具用材の扱い方に関心を持ち、理解させる。</p> <p>創作作品を制作させることで、作品の鑑賞力を高め、創造力を伸ばす。書道Ⅰよりもさらに多くの古典を学び、さまざまな技法を習得させる。</p>

観点別評価及びその配点

観点	書道への 関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な 書表現の技能	鑑賞の能力
趣旨	さまざまな書的美に関心を持ち、多様な書法を意欲的、主体的に学び、古典の美と価値を学び取ろうとしている。	古典の特徴を捉え、習得した技法を、自身の感性を働かせながら、生かしている。	目的や用途に応じた書表現をするために、効果的な表現の技能を身に付けて、表している。	自身の作品や他者の作品を客観的に観察し、その特徴を捉え、自己の作品制作に生かしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席の状況。 ・学習の参加状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果。 ・小テスト。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の成果。 ・小テスト。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考査 (書く能力を問う問題、理論問題を出題)。
配点(pt)	150	300	300	250

評価

観点別評価の合計点(1000pt)により、10段階評価を行う。

学習のアドバイス等

1. 毎回の授業にしっかりと出席し、授業内で出た課題をこなすこと。
2. 書道に親しみを持ち、意欲的に取り組むこと。
3. さまざまな古典作品に触れ、臨書学習を通しその作品の技法を身に着けること。